【巻頭特集】これからの春日井を支える

移動スーパーマーケット「道風（とうふう）くん」

お店の商品を地域に出向いて販売する移動販売車。春日井市では2015年4月に公民連携での移動販売事業をスタートさせました。その名も移動スーパーマーケット「道風くん」。買い物に不便な地域のみなさんのもとへ向かう「道風くん」にはどんな思いが込められているのでしょうか？お話を伺いました。

いち市民の声から始まった移動スーパーマーケット

軽トラックを囲む人たち。覗いてみると、その中には日々の食卓に欠かせない野菜や肉・魚といった生鮮食品、パン・牛乳・乳製品・お菓子・日用品など、さまざまな商品が陳列されています。移動スーパーマーケット「道風くん」と呼ばれるこの軽トラックは、春日井市のなかでも買い物に不便を感じる市民の多い地区にやって来るのです。

近くに買い物できる場所がない、あっても交通手段がない、足腰が悪く買い物に行けない…そんな買い物に困っている人々は全国で約700万人。過疎地に限らず都心部でも急増しています。そこで国や地方自治体が検討した買い物に困っている人々を支援するための対策を、商工会議所や民間企業が実施しています。春日井市では以前、東山町（桃花園）で行われていた移動販売が撤退したこともあったとか。「頼りにしていた移動販売。もう一度始めてほしい」。移動販売を利用していたいち市民の強い思いを市長が受けとめ、2015年4月から公民連携の取り組みとして移動販売事業をスタートさせました。アンケート調査やヒアリング調査の結果をもとに、特に買い物に不便を感じている方が多い4地区（東山町（桃花園）・牛山町・藤山台・石尾台）を「道風くん」が巡回しています。

市民のニーズにさらに応えたい移動販売ならではのメリットも

「道風くん」は春日井に本店を置く創業78年の老舗スーパー「清水屋」と、現在市内に8店舗展開する同じく春日井市民におなじみの「ナフコ不二屋」によって運営されています。「『自分の目で見て買えるなら』と利用していただいている方は多いです。特に生鮮食品は実物を見て選んで買い物できることから、安心してご自身もご家族も口にすることができる点で喜ばれています」と話すのは、清水屋の代表取締役である清水氏。この移動販売事業が始まって1年。「道風くん」はお客さまからのさまざまな要望に日々応え続けていると清水氏は続けて言います。例えば「高齢の方の場合、買い物の量が多かったり、お米といった重い物を購入すると、自宅までひとりで辿り着くのは難しいこともしばしば。「玄関先まで来てもらえたら本当に助かる」という声をいただいています。そんな時は可能な範囲で販売員がお手伝いさせていただいています。他には、以前は電球といった日用品は販売車にあまり載せていませんでしたが、複数のお客さまから欲しいという要望があり、生活必需品であることを再認識しました」と清水氏。ナフコ不二屋の副社長である成瀬氏も同様のニーズを感じつつ、「店頭に並ぶ商品が2万品に対し、トラックの中に載せられる商品は300品と限られています。ですから『これが欲しい』というものがある場合は事前注文してもらっています」と話します。

「道風くん」は現状では高齢者の利用が多いそうですが、目で見て選び購入できる上、事前注文もできるという点は、家庭を守る主婦層の方たちにも大きなメリットになるといえるでしょう。「以前ある女性に『移動スーパーマーケットは高齢者のためのものだ』というイメージがあった」とお話を伺ったことがありますが、そんなことはありません。乳児を育てていて思うように買い物に行けない、天気が悪い日に子ども連れでスーパーへ買いに行くのは大変など、子育て中のお母さんや買い物に不便を感じている主婦の方々にもぜひご利用いただきたいです」と春日井市の商工業の振興をサポートする春日井商工会議所の林越さんは言います。

住みよくあたたかい春日井を目指して

「道風くん」がやってくるのを心待ちにしている利用者。人気の理由は、不便を感じていた買い物が今では気持ちよくできるから、という声だけではありません。利用者の大半である高齢者のなかには普段ひとりで暮らしている方も多く、「「今日は旬の果物を持ってきましたよ」「美味しそうね、じゃあそれをもらうわ」といった私たち販売員との会話や、他の買い物客との買い物しながらの会話を楽しみにしている方が多いみたいです」と実際に移動販売車で各地域を回るナフコ不二屋の奥村さんはにこやかに話します。今までめったに外に出なかった高齢者の女性が、移動販売車をきっかけにお化粧をして買い物に行くようになったということも少なくないとか。清水氏は、呉服商で営業を始めた頃の清水屋で働いていたという買い物客の方に「○○さんは元気にしてる？」と声をかけられ、驚くとともに会話に花が咲いたこともあったそうです。「道風くん」が去ってからも、トラックの周りにいる人たちはすぐに帰らず会話を楽しみます。今日のニュースや孫のこと、「道風くん」で買って美味しかった食材のこと…話はなかなか尽きません。

「この事業を通じて、お客さまが心から『道風くん』を待ってくれていると強く責任を覚えています。今後も住みやすいまちづくりに寄与したい」と成瀬氏は熱く語ります。「買い物をきっかけとして春日井のコミュニティを支えたい。将来は販売地域の拡大をしたり時間帯の幅を広げたり、さらには地域に住む独居老人の方の見守りを兼ねた販売活動を行えたらと考えています」と清水氏。移動販売車での買い物が未来の春日井をより住みよくあたたかいまちにしてくれることは間違いないでしょう。現在「道風くん」が巡回する4地区にお住まいの方はぜひ移動スーパーマーケットを利用してみてはいかがでしょうか。

株式会社清水屋
代表取締役社長
清水 隆行 さん

株式会社不二屋
取締役副社長
成瀬 祐一 さん

株式会社不二屋
宅配事業部主任
奥村 智久 さん

春日井商工会議所
中小企業相談所 商業・サービス支援課
経営指導員
林越 宏治 さん

移動スーパーマーケット道風くんinformation

牛山町

<場所>牛山児童遊園など計10ヶ所を
(火)10:30頃～16:00頃
(金)10:30頃～16:00頃の間に巡回。
<運行>清水屋

東山町（桃花園）

<場所>
簡易郵便局駐車場園など計8ヶ所を
(月)10:30頃～15:35頃
(木)10:30頃～15:35頃の間に巡回。
<運行>清水屋

藤山台

<場所>きりん公園など計11ヶ所を
(月)10:30頃～15:45頃
(木)10:30頃～15:45頃の間に巡回。
<運行>ナフコ不二屋

石尾台・東高森台

<場所>中日新聞石尾台専売所など
計16ヶ所を
(火)10:30頃～16:05頃
(金)10:30頃～16:10頃の間に巡回。
<運行>ナフコ不二屋

詳しい販売場所・時間は
こちらにお問い合わせください。

■ 春日井市観光コンベンション協会
0568-81-4141
■ 春日井市観光コンベンション協会
移動スーパーマーケット道風くん サイト
http://kasugai-kanko.jp/
移動スーパーマーケット道風くん.html

取材・文／篠永 優（株式会社ジオコス）　撮影／ミゾグチジュン　デザイン／タカハシデザイン